



『大』キャッチ プレス

Matsubara Daisuke Seto City Report

松原大介

瀬戸市議会議員



2023年1月発行



Vol.14



道泉小学校跡地（校舎部分）は公募により優先交渉権者が決定しました。

瀬戸市は、公募を行うにあたり、地元からの要望書・アンケート結果を受け、校舎部分のみの公募を行いました。（運動場と体育館は引き続き市が管理し、地域が利用する。）

公募の結果、(株)教育システム（瀬戸SOLAN小学校）が優先交渉権者になりました。

計画では、今年度中に学校法人化を行い、義務教育学校（小中一貫校）とする計画のようです。今後、地域説明会が開催される見通しです。

瀬戸蔵 1階の飲食店舗が決まりました！

空き店舗になっていた瀬戸蔵1Fの飲食店ですが、公募により、たいこうフーズ(株)に決定しました。令和5年3月に「瀬戸蔵カフェ花ごよみ」をOPEN予定です。



古瀬戸小学校跡地の「再」公募を行っています。

前回公募では応募がありませんでしたが、再度スポーツ施設として公募を行っています。

（令和5年2月17日締切）

前回公募からの主な変更点は、

- ・旧校舎とプールは市で解体する。
 - ・貸し出す土地面積を平地のみにする。（傾斜地は入れず、実際に活用する土地のみ貸し出す）
- 事業者からの応募が期待されます。

出産・子育て 応援給付金10万円が決定！

妊娠時・出産時に各5万円、計10万円の給付が決まりました。令和4年4月以降に妊娠届や出生届を出した人が対象です。



みんなと

しゃべくり広場

日時：1月24日（火）
10：00～11：30
道泉地域交流センター

ごみ分別実践教室

「分別に悩むごみ集合！プラ分別を 実際にやってみましょう！」

申し込み：不要。当日直接お越しください。

参加費：無料。

持ち物：分別がわからないごみ、悩みそうなおみがあれば
お持ちください。

当日、みなさまと一緒にプラごみの分別をやってみます！

松原家のごみ袋はしっかり分別できてるか？！一緒に合っているのか見てみましょう。分別に悩むものもお持ち込みください。おしゃべりしながら分別してみましょう。

お気軽にご参加ください！

松原大介の一般質問



プラスチック製容器包装の収集日を 月2回から週1回に増やしましょう！

県内の多くの自治体では、週1回のプラスチック製容器包装の収集が行われており、プラスチック製容器包装の収集日を増やすことは、本市が推進するごみ減量にも寄与することから、本市においても、週1回のプラスチック製容器包装の収集を実施すべきだと考え、質問しました。

Q. 愛知県内38市のうち、プラ分別収集を行っているのは36市、そのうち30市が週1回以上の収集、月2回以下は6市。本市ではどのような検討のうえ、月2回としたのか。



A. 先行する自治体の導入時における排出状況を参考にした。プラを資源として意識していただくため、月2回の資源物収集に合わせた。



詳しくはこちら！
Youtube動画

Q. プラ分別収集を週1回に増やし、収集場所を燃えるごみ置場に変更しようとした場合、どのような課題があるか。



A. ごみの収集運搬体制の再構築が必要となる。それに伴う経費の増加も課題。今後、どのような収集方法が市民にとってよいか模索していく。

収集運搬体制の再構築は他市町も行っているので対応可能。経費の増加は事実だが、本市はすでに令和5年9月からの有料化（ごみ袋大幅値上げ）も決定しているので、経費を言い訳にはできない。他市町の多くは、有料化せずとも週1回収集を行っている。なるべく早く実施すべきである。

松原大介応援クラブ

〒489-0055 愛知県瀬戸市滝之湯町24-1

TEL：0561-76-3153

Email：d.matsubara3153@gmail.com



facebook



松原大介応援クラブ
ホームページ

